

ユーラシア（徳永）文庫とシンポジウム開催

吉田睦

本年度（平成 21 年度）早々、千葉大学附属図書館に「ユーラシア（徳永）文庫」が開設された。これは言語学者でハンガリー語やハンガリー文学を中心とする専門分野において著名な徳永康元先生の蒐集されていた蔵書の一部を、ご本人並びにご遺族の無私無欲なご厚意により無償で寄贈していただいたものである。今回整理が済み登録済みの図書資料類は 3 千件を超えている。しかし特殊語資料や雑多な資料類も多いことから、未だ整理事業は進行中である。

本稿筆者は、一度生前の徳永先生にお目にかかったことがあった。金子亨先生（現千葉大学名誉教授）を介してご蔵書の一部を本学附属図書館に寄贈していただけるというお話が出て少し時が経った頃、荻原真子先生（帝京平成大学教授・千葉大学名誉教授）と附属図書館図書情報係長（当時）の鹿島玲子さんと共に、先生にご意向を確認するとともにご蔵書の様子を窺い、作業の目途をつけるためであった。先生はすでに話に聞いていたような物静かな紳士という印象であったが、ご蔵書の案内には誠意をもって対応していただいた。

残念ながら、その後先生にはお会いすることなく、2003 年の訃報に接するに至ってしまった。私どもは先生のご健在の間に、ご指示を受けつつ、寄贈のための蔵書の移管の作業をするつもりであったが、金子亨先生他の方々のご尽力により、今日「ユーラシア（徳永）文庫」の開設に立ち至ったのであった。（その間の経緯は、以下の金子先生のご説明に詳しい。）

文庫の名称の通り、分野は言語学、民族学が中心であり、地域的には、ユーラシア大陸が中心であるが、その他の分野・地域のものも織り交ざっている。難解な言語や特殊語の文献あり、絵本あり、という内容である。そのことがまたこのコレクションの一つの特徴であり、また魅力でもあるといえる。

この文庫開設を記念して、2009 年 6 月 19 日（金）13:00-17:00、千葉大学附属図書館（4 階ライブラリーホール）において千葉大学附属図書館「ユーラシア（徳永）文庫」開設記念シンポジウム「徳永康元氏とその蔵書」（主催：千葉大学文学部ユーラシア言語文化論講座、千葉大学ユーラシア学会）が開催された。そのプログラムは以下のとおりである。

第一部 徳永康元氏を語る

司会：中川裕（千葉大学大学院人文社会科学研究科教授）

冒頭挨拶 中川裕

金子亨（千葉大学名誉教授）

徳永隆（徳永康元氏御子息）

第二部 ユーラシア（徳永）文庫を語る

司会：金子亨

小網恵美子（千葉大学附属図書館）

南塚信吾（法政大学国際文化学部教授）

荻原眞子（帝京平成大学教授・千葉大学名誉教授）

中川裕（千葉大学大学院人文社会科学研究科教授）

吉田睦（千葉大学文学部教授）

ディスカッション

第三部 展示紹介

於：千葉大学附属図書館本館 1階展示室

案内：金子亨

懇親会（千葉大学生協喫茶「ヴィッセン」）

特筆すべきこととして、本シンポジウムにおいては、ご子息の徳永隆様が足を運ばれて、ご尊父の思い出などをお話しただけしたことを挙げておきたい。以下において、上記シンポジウム出席者に当日のご報告を中心に再度当文庫に関する説明、蔵書受け入れ・整理作業、その他の逸話等を含め語っていただくことにしたい。

本稿筆者にとっても、また千葉大学文学部を中心にユーラシア大陸諸地域の民族文化を研究する本学の研究者、学生にとって、千葉大附属図書館本館 4階にかけがえのないコーナーが出現したことはこの上ない喜びである。同時にこのような大変貴重な図書類を一挙に引き受けた側としては、多くの研究者や学生に周知させ、利用をはかっていく責任を負ったことになる。故人となられた徳永康元先生には直接お礼を申し上げる機会を失ってしまったが、ご子息の徳永隆様をはじめ

めぐ遺族の方々のご理解に篤く御礼申し上げるとともに、微力ながら今後の当文庫の有効利用に努めていきたい。

最後に、本コレクションの開設のために様々な形でご尽力下さったご子息の徳永隆様をはじめご遺族の方々、金子亨先生、荻原眞子先生、千葉大学附属図書館の関係の皆様は厚く御礼を申し上げたい。

*このシンポジウムの開催と並行して、「千葉大学附属図書館所蔵 ユーラシア（徳永）文庫展」が同年6月1日から30日の間、附属図書館本館1階展示ホールにおいて開催された。（文庫展ポスター下掲）

千葉大学附属図書館
ユーラシア(徳永)文庫
開設記念展示会

ブダペスト日記
徳永康元

（前掲書表紙）
（前掲書表紙）

主催：千葉大学附属図書館
千葉大学ユーラシア言語文化論講座・千葉大学ユーラシア学会

とき：2009年6月1日（月）～30（火）

ところ：千葉大学附属図書館本館1階展示室
千葉市毛区旗本町1-30
アクセス：神武駅西千鳥駅東口
千葉大学附属図書館から徒歩5分
（地図参照）

（よしだ あつし・千葉大学文学部）